

地域福祉関係団体調査 ご協力をお願い

福祉関係団体や事業者の皆様におかれましては、日ごろから市政に対しご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

福生市では、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちの実現に向け、「第7期福生市地域福祉計画」を策定します。

本調査は、地域にかかわる活動を行う団体や福祉事業者の皆様等からご意見をいただき、計画策定の基礎資料とさせていただきます。

プライバシーの保護には万全を期しておりますので、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年9月

福生市

【調査に関するお問い合わせ先】

福生市社会福祉課 電話:042-551-1522

10月27日(日)までにご提出くださいますようお願いいたします。

1. 貴団体・事業者のことについて

問1 貴団体・事業者等についてうかがいます。

名 称			
代 表 者	記 入 者		
団 体 区 分 (主なものひとつだけ○)	1 福祉事業者・教育機関	2 医療機関	3 民間事業者
	4 専門職(ケースワーカー、コーディネーター、司法書士等)		
	5 地域活動団体・関係者 (民生委員・児童委員、町会・自治会、小地域福祉活動リーダー、保護司等)		
	6 NPO・ボランティア団体	7 その他	
主 な 活 動 内 容			
主 な 対 象 者 ・ 世 帯 (あてはまるものすべてに○)	1 子ども、青少年(保護者を含む)		7 ひとり親家庭
	2 青年期(概ね20～30代)		8 認知症、権利が侵害されやすい人
	3 壮年期(概ね40～50代)		9 ひきこもり、ニート
	4 高齢者(概ね60代以上)		10 LGBTQ等
	5 障害児・者(保護者を含む)		11 更生して立ち直ろうとする人
	6 外国籍・外国ルーツの市民		12 その他()

団体区分が「5 地域活動団体・関係者」「6 NPO・ボランティア団体」の方にかかっています。
(それ以外の方は、3ページへ)

問2 貴団体は、どのくらいの頻度で活動を行っていますか。(ひとつだけ○)

1 週3日以上	4 年に数回程度
2 週1～2日程度	5 その他()
3 月1～2日程度	

問3 貴団体が活動を行ううえで困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1 リーダーの育成・メンバーの人材確保
2 活動の内容について(マンネリ化・参加者に興味を持ってもらえる活動の実施など)
3 活動の場所(拠点)の確保が難しい
4 活動資金が足りない
5 活動に必要な情報や専門知識が不足している(適切な相談者がいない)
6 情報発信の仕組みづくりについて(市民への情報発信など)
7 地域との協力・連携・協働について(支援を必要とする人へのアプローチなど)
8 他団体等との協力・連携・協働について
9 その他()
10 特に困ったことはない

問4 貴団体は現在参加者・運営スタッフの募集を行っていますか。(ひとつだけ○)

1 参加者・運営スタッフともに広く募集を行っている	3 運営スタッフの募集を行っている
2 参加者のみ募集を行っている	4 参加者も運営スタッフも募集していない

問4で「1」～「3」と答えた方へ

問5 行政や社協、地域活動団体等から、新規参加者・運営スタッフの紹介があった場合、貴団体での受け入れは可能ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 基本的には受け入れ可能	3 紹介元との連絡調整を行ったうえで判断したい
2 条件が合う人であれば受け入れ可能	4 受け入れは限定的に行っているため難しい
	5 その他()

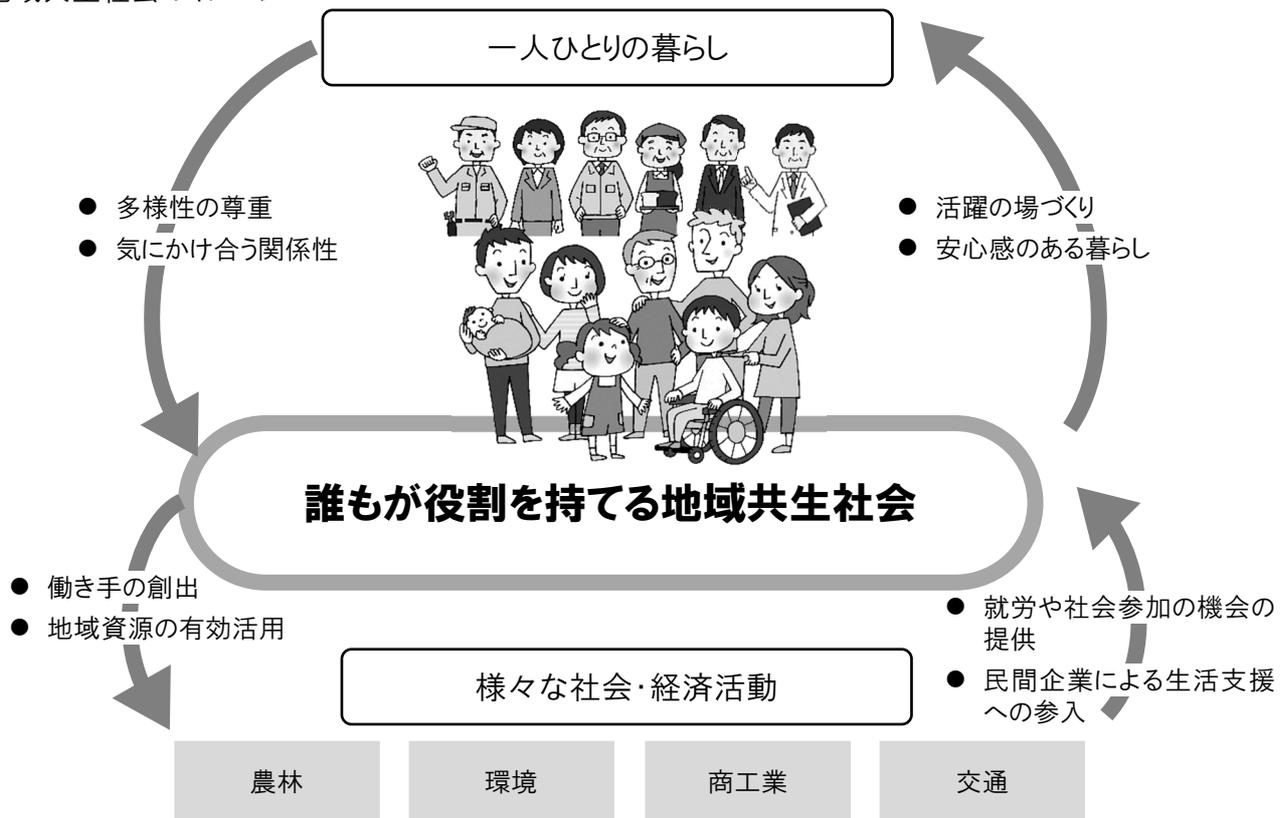
次の設問の前にお読みください。

「地域福祉計画」は「地域共生社会」を実現するための計画です。

■地域共生社会とは

「支援する人」「支援される人」という関係を超えて、地域の様々な人や団体が役割を持ち、協力しながら、すべての人の暮らしと生きがいとともに創っていく社会のことです。

地域共生社会のイメージ



■地域共生社会を目指して、「地域福祉」を進めています

支援しづらい地域の課題を解決したり、「生きづらさ」を抱える地域の人々の生活を支援したりするため、制度の縦割りを解消し、「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながり合う地域共生社会を創ることが必要となります。

この地域共生社会の実現のため、福生市は、①属性を問わない相談支援体制の整備や、②支援が必要な人・世帯が社会と継続的につながるための支援、③世代や属性を超えて交流できる場や居場所の整備に市全体で取り組むことを柱とする、重層的支援体制整備事業の実施に向けて取り組んでいます。

II. 地域での取組について

問6 貴団体・事業者の活動の中で、地域と一緒にいることや、地域に向けて行っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 町会・自治会、子ども会、老人クラブなどの活動への参加、支援 |
| 2 | 地域行事への参加、支援 |
| 3 | 地域の交通安全運動や清掃美化、資源回収活動への参加、支援 |
| 4 | 地域のNPOやボランティア団体などの活動への参加、支援 |
| 5 | 地域の方を対象とする見守り活動への参加、支援 |
| 6 | 地域の方が集まることのできる場の提供、交流会などの実施 |
| 7 | その他() |
| 8 | 特にない |

問7 貴団体・事業者では、地域活動を行う上で他の団体や機関等との交流や連携、協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | | |
|---|-----------|----|----------|----|----------|
| 1 | 町会・自治会 | 6 | 社会福祉協議会 | 11 | 小・中学校 |
| 2 | 民生委員・児童委員 | 7 | ボランティア団体 | 12 | 保護者会・PTA |
| 3 | 老人クラブ | 8 | NPO | 13 | その他() |
| 4 | 子ども会 | 9 | 商店街 | 14 | 特に関係はない |
| 5 | 福祉施設 | 10 | 保育園(所) | | |

問8 今後、連携していきたい他の団体や専門職はありますか。該当する番号を選び(複数回答可)、連携したい具体的な内容をご記入ください。(自由記述)

↓問7の項目番号を記入(複数回答可)

項目番号	連携したい具体的な内容

問9 団体・事業者同士の連携、協力関係を生むためには、どのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|------------------------|---|---------|
| 1 | コーディネートする人材の育成 | 5 | わからない |
| 2 | 団体・事業者の交流の機会づくり | 6 | その他 |
| 3 | 地域に関する情報やニーズを共有する機会づくり | | (具体的に) |
| 4 | 行政や社協によるネットワークづくり | | |

Ⅲ. 活動（事業）を通して見える地域の状況について

問10 活動(事業)を通して、次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----|--|---|
| 1 | 大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯(ごみ屋敷) | |
| 2 | 高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護) | |
| 3 | 近隣や地域と関わりをもたない世帯(孤立世帯) | |
| 4 | 自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯(ひきこもり) | |
| 5 | 高齢の親がひきこもり状態にある中高年の子どもの生活を支えている世帯(8050 問題) | |
| 6 | 子育てと親の介護を一人で同時に抱えている世帯(ダブルケア) | |
| 7 | 未成年の子どもが家族の介護などによって、自分の時間をもてない世帯(ヤングケアラー) | |
| 8 | 家族の間で虐待が疑われる世帯(虐待) | |
| 9 | 上記以外で、深刻な課題を抱えていると思われる世帯
(具体的に |) |
| 10 | いずれも見たり、聞いたりしたことはない | |

問 10 で「1」～「9」と答えた方へ

問11 問 10 の1～9の項目の世帯を支援したことがありますか。(ひとつだけ○)

- | | | | |
|---|----|---|-----|
| 1 | はい | 2 | いいえ |
|---|----|---|-----|

問 11 で「1 はい」と答えた方へ

問12 支援している中でどのような困りごとがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | 困りごとに対応できる相談支援機関がわからない | |
| 2 | 他の相談支援機関との連絡・調整が難しく、スムーズに連携できていない | |
| 3 | 連携して支援を行うにあたって、各相談支援機関等の明確な役割分担ができていない | |
| 4 | 本人や世帯が過去に受けていた支援内容や、支援していた機関がわからない | |
| 5 | 個人情報の取り扱いが難しいため、必要な情報を共有できない | |
| 6 | 具体的に何をすればよいかわからない | |
| 7 | 支援を拒否される | |
| 8 | その他(具体的に |) |
| 9 | 特に困りごとはない | |

問13 そのほか、活動(事業)の中で市民の抱えている課題として気になっていることはありますか。該当する項目番号を記入し、それについて内容を具体的に記入してください。

項 目	
1 子ども・子育て(居場所、ヤングケアラーを含む)	8 健康・医療
2 障害児・者(医療的ケア児、発達障害を含む)	9 防災・防犯・交通安全
3 高齢者・介護(認知症、見守り)	10 住居・住環境
4 地域活動・ボランティア活動	11 ニート・ひきこもり
5 就労・経済的な事項	12 福祉に関する情報提供
6 外国籍・外国ルーツの市民	13 その他
7 人権・家庭内暴力	14 特にない

↓ 項目番号を記入 (複数回答可)

項目番号	気になる事例・問題 (自由記述)

問14 地域共生社会の実現に向けて、貴団体・事業者として貢献したいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 地域の交流の場や居場所づくり	5 多様なサービスや活動とニーズの調整
2 地域から孤立しがちな人が社会とつながるための支援 (就労、活躍の場の支援など)	6 その他()
3 支援を必要とする人への情報提供	7 特にない
4 支援を必要とする人を判断し、適切な相談や支援につなぐ	

問15 問14の回答について、具体的にできることや、うまくいっていないことなどがあれば教えてください。(自由記述)

(1) 団体・事業者等にできること

(2) うまくいっていないこと・課題等

--	--

IV. 権利擁護支援について

権利擁護支援とは、高齢者や障害のある方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、本人の権利を保護するものです。その一つに、本人に代わって後見人等が財産管理や各サービスの利用手続きなどを行う「成年後見制度」があります。成年後見制度には、本人の判断能力が低下したあとで裁判所が後見人等を選任する「法定後見制度」と、将来判断能力が低下した場合にどのような支援をしてもらいたいかを、あらかじめ本人と本人が選んだ任意後見人との契約で決めておく「任意後見制度」があります。

問16 活動(事業)の中で、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援などを行うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 成年後見制度の利用のための支援を行うことがある
- 2 判断能力が低下した人の支援について相談を受けている
- 3 判断能力が低下した際の相談先について紹介している
- 4 相談や利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある
- 5 成年後見制度の普及や啓発活動をしている
- 6 その他()
- 7 取り組んでいることはない

問16で「1」「2」「3」と答えた方へ

問17 その際、どのような困りごとや相談が多いと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 入院・施設への入所のこと | 5 お墓や遺品整理のこと |
| 2 日常的なお金の管理のこと | 6 成年後見制度の利用に関すること |
| 3 福祉サービスの利用のこと | 7 その他() |
| 4 相続のこと | 8 そういった相談は受けていない |

問18 権利擁護支援について、今後どのような取組が必要だと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 身寄りのない方への入院・入所から終末期までの一貫したサポート
- 2 相続や遺言等、終活についての相談窓口の設置
- 3 成年後見制度の普及・啓発に関すること
- 4 後見人として活動している方や団体への支援の充実
- 5 その他()
- 6 特にない・わからない

V. 再犯防止について

全国の犯罪の件数（刑法犯検挙者数）は概ね減少傾向にある一方で、検挙者に占める再犯者（再び検挙された人）の割合は50%弱と、高いまま推移しています。

犯罪をした人が円滑に社会に復帰できるようにし、犯罪や非行の繰り返しを防ぐ、「再犯防止」に地域で一体となって取り組むことが重要となっています。

問19 再犯防止の推進のために、貴団体・事業者が①現在取り組んでいること、または②今後取り組んでいきたいことはありますか。（①②それぞれあてはまるものすべてに○）

No.	項目	①現在取り組んでいること	②今後取り組んでいきたいこと
	記入例	○	○
1	再犯防止の取組についての学習		
2	団体のメンバーや市民、関係者などへの情報発信や啓発		
3	「社会を明るくする運動」などへの参加		
4	犯罪や非行をした人への助言や支援		
5	他の団体や専門機関等と連携した支援		
6	犯罪や非行をした人に団体の活動に参加してもらう		
7	その他		
8	取り組んでいない・取り組めることはない		

問20 犯罪をした人が更生して地域で生活する場合に必要な支援は何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

1 就労支援	6 民間協力者の活動促進
2 住まいの確保支援	7 その他()
3 経済的支援	8 どのような支援が必要かわからない
4 地域住民の声かけ・かかわり	9 特に必要な支援はない
5 非行の防止・就学支援	

VI. ご意見・ご要望等

問21 地域福祉推進についてご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。